

志木小学校だより

令和元年度8・9月号



学校地域教育目標

明るくあいさつのできる子
地域を大切にする子

思いやりのある子
意欲的に学ぶ子

8/29児童数 749名

成長するために失敗を恐れない！

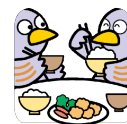
校長 坂口 栄二



ラグビーワールドカップ

長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。子供たちがとてもよい笑顔と元気な明るい声で学校に帰ってきて、学校に活気が戻ってきました。

この夏の猛暑は少し和らいできていましたが、今後また暑くなる予想もあります。2学期は運動会やいろはふれあい祭り、持久走大会等の行事もたくさん予定されています。体調管理に十分注意し、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。



「チャレンジする夏休み！」

これは1学期の終業式で行った講話のタイトルです。夏休みにたまたま会った子供達が「校長先生、夏休み、いっぱいチャレンジしています。」と元気に声をかけてくれました。終業式でしっかり話を聴いてくれたこととたくさんのチャレンジをしていてくれることが分かりとてもうれしくなりました。

この夏休み、どんなチャレンジをしましたか。登校してきた子供たちの成長具合から、どの子もたくさんのチャレンジをしてきたと思います。さらに成長するために、2学期も様々なことにチャレンジしてほしいと思います。

チャレンジは失敗することの方が多いい？

夏休み中のチャレンジはすべて1回で成功しましたか。きっと、失敗したことの方が多かったのではないのでしょうか。もちろん、何度も失敗し、何度もチャレンジしながら成功したことも多かったと思います。

皆さんも感じていることと思いますが、チャレンジは失敗することの方が圧倒的に多いと考えます。例えば、この夏も多くの感動を呼んだ高校野球。どのチームも優勝を目指していますので、負けてしまったことを失敗と考えた場合、優勝できるのはたった1校ですので、ほとんどの学校は失敗したことになります。圧倒的に失敗が多いことになります。

失敗を生かして成長する！

では、負けることは失敗なのでしょう。私は違うと考えます。

「失敗したところでやめるから失敗になる。成功するまで続けたら、それは成功になる」この言葉は、実業家の松下幸之助氏の名言です。「おれは9,000回以上シュートを外し、300試合に敗れた。決勝シュートを任されて26回も外した。人生で何度も何度も失敗してきた。だからおれは成功したんだ」この言葉は、バスケットボールの神様と呼ばれるマイケル・ジョーダン氏の名言です。2つの名言から考えられることは、「何かにチャレンジしてうまくいかなかったときに、そのままにしてしまえば失敗であり、うまくいかなかったときにその原因や次のチャレンジを考えられれば失敗とはならない。何度も挑戦することで成功することができる」ということだと考えます。

今学期も、子供たちはたくさんのことにチャレンジします。保護者・地域の皆さまには、うまくいかなかったときに、励ましの言葉や助言等のご支援・ご協力をお願いいたします。

最後にもう一つ。ドイツの統一に貢献したモルトケ氏の名言を記します。

「失敗こそ成功のもとである。失敗をしてどう思ったか。それからどうしたか。やめてしまったか。あるいは勇気をもって前進したか。失敗したあとの行動で人生は決まるのだ。」

